

コミュニケーションの場の創出で心身の健康促進を目指す

株式会社ケイデン

株式会社ケイデンは昭和24年に日立製作所の総合特約店として創業された。以来67年にわたり、空調機器や工場設備、電気設備等の販売、取付工事・施工から、修理・メンテナンスをトータルサポートすることで業容を拡大してきた。街と暮らしに「快適」を届けることを社とする同社は、職場にも快適な風を送り込むことに重きをおき、とりわけ従業員のコミュニケーションを図るために力を注いでいる。従業員の健康促進のためのユニークできめ細やかな取組みを紹介する。

健診結果を有効活用

「高齢化は時代の流れですが、当社も着々と高齢化が進んでいます。現在94名の従業員のうち4割を50歳以上が占め、40歳代を含めると6割に達します。世代交代が喫緊の課題となっていますが、技術を次の世代にしっかり継承していくためにも従業員一人ひとりの心身の健康が大切だと考え健康促進の対策を進めてきました。

従業員の健康管理については総務部（8名）が一手に担っており、自分たちの一番の仕事は職場の環境づくりのアシストであると、健康促進のためのアイデアを出し合っています。私は8年前に入社以来、安全衛生管理者として衛生部門を担当してきました。この間力を入れてきたことは健康診断の結果を有効に活用して、従業員一人ひとりに健康の大切さに気づいてもらうことでした」と、鈴木敏生総務課長は語る。

年に1度の健康診断については100%受診を達成しているが、有所見者の二次健診受診率がなかなか伸びなかった。

その背景には、50歳代の技術者が会社の核を占めるため、『仕事優先』という雰囲気が強かったことがある。鈴木課長を先頭に総務部は再検査の全員受診を目指して工夫を凝らした活動に着手した。

「とにかく受診してもらうまで何度でもアプローチをかけました。再検査の対象者とメタボ該当者、メタボ予備軍を合わせた一覧表を作成し、再検査するまで繰り返しアナウンスして、とことん追いかけていきました。また、メタボ該当者には、放置しておく怖さを知ってもらうために、協会けん



社員のコミュニケーションの場として休憩室「サロンド・K」を新設

ぼの保健師を招いて健康指導を実施しました。また、手作りの社内広報を定期的に発行して健康に関する情報や健康の大切さに気づいてもらえるような記事をせっせと掲載しています。粘り強く再検査を促してきたことが功を奏したのか最近では該当者全員が受診するようになりました。昨年度の検査では初期の大腸がんが発見された従業員もいましたが、対処が早かったこともあって大事に至りませんでした」と、鈴木課長は強調した。

笑顔あふれる休憩室の新設

「当社の業務は幅広い製品の販売、設備設計、施工が中心ですが、施工担当といっても1人で現場に出かけて管理・監督を行うため、現場で同僚と顔を合わすことがあまりありません。それが直接の要因ではありませんが、5年ほど前からメンタルヘルス不調を訴える従業員が出てきました。数としては多くありませんが、放置することはできず、心身を癒す休養施設やコミュニケーションの場の創設に取り掛かりました。実は5年前に、1人のメンタルヘルス不調者が退職を余儀なくされたことがあり、日ごろ従業員の心身の健康づくりに関わってきた私たちは退職者が出てしまったことに忸怩たる思いがありました。体だけではなく心の健康に対しても早期対策が必要であると改めて気づかされ、思えばそれが原点になっている気がします」と鈴木課長。

同社には、すでに4階に『養寿庵』と名づけられた立派な休憩室が設置されており、畳敷きで布団も用意され、体調を崩したときは誰でも休憩できるが、利用者はほとんどいなかった。もっと気軽に使えるコミュニケーションの場がほしいという従業員の要望に応え福利厚生の一環として昨年4月に新設されたのが『サロンド・K』である。空室だった1階のオフィスを改修し、ドアを開けると喫茶店の雰囲気漂うユニークな休憩室が誕生した。昼休みに無料のコーヒーを楽しめる休憩室なら他社にも見られそうだが、特筆すべきは17時半の終業後は、セルフサービスでアルコールを楽しめることである。冷蔵庫にはさまざまなアルコール類が用意されており、従業

員は誰でも1点につき100円で利用できる。時には経営陣が顔を出すこともあり、缶ビールを手にしながら従業員達と会話が弾む光景も垣間見られる。設置されて1年半が過ぎ、日ごろ顔を合わせる機会が少ない同僚たちの格好のコミュニケーションの場として利用者が増えている。

今後の課題

『サロンド・K』の開設と同時に福利厚生の充実についても見直しました。会社が少額ではありますが、さまざまな場面で費用の補助をすることにしたところ、各部署で懇親会を開くなどコミュニケーションの機会が拡充されています。サークル活動も補助の対象なので、相乗効果で従来のサークル活動が活発化、モチベーション向上に大いに役立っています。

もちろん課題は山積しており、メンタルヘルスに関して言えば、独立した相談窓口がなく、面談などは『サロンド・K』を利用している状態です。今後はストレスチェックなど、時代の流れについていけるような環境を整備していかなければなりません。職場復帰のためのプログラムづくりや何よりも早期の予防対策に着手していく必要があります。

また、喫煙問題については各階の外階段での喫煙は徹底されていますが、喫煙者数は減っておらず、禁煙に向けた対策などではまだまだ遅れを取っています。他社の取組みなどを参考にしながら積極的に活動を展開したいと考えています。ちなみに『サロンド・K』の商品補充やお金の管理、部屋の整頓などはすべて総務部が担当しています。正直大変ですが、総務部は他の部署のように顧客を持ちませんから、強いて言えば従業員全員が総務部のお客様だと私は思っています。従業員の健康管理はやりがいのある仕事です」と、鈴木課長は笑顔で締めくくった。

会社概要

株式会社ケイデン
事業内容：設備設計、施工、機器販売業
設立：昭和24年
従業員：94人
所在地：名古屋市中区